

すくらあるち通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・さくらおろち湖周辺地域の自然とそこに暮らす人の営みを元気なものにしていくNPOの情報発信紙です。

第43号

発行所△NPO法人すくらおろち
〒六九九一-三四二
雲南市木次町平田七九九一
☎〇八五四・四八・〇七二九

里山ってなんだろう。 どうなっていくのだろう。



「竹藪を退治して竹と仲よくなろう」「柿をめぐる男たちのロマン」「秋の畑へ行こう」……年間6回を計画し、この秋から3回行つてきている「さくらおろち湖の里山ボランティア」。参加者のほとんどは松江市・出雲市から。里山資本主義なる言葉が流行ですが、さて、その里山って？ 直近実施の2回を振り返りながらの一文です。

▼10月25日(土)、奥出雲町三沢地区で開催したのは、「柿をめぐる男たちのロマン」。芋を掘って、炭出しを見学して、蕎麦害山でおにぎりと手料理を食べ、草木を観望鑑賞し、あわせ柿を

つくり……と、盛り沢山のメニューに26名が取り組みました。▼参加者の感想、「年齢層が思っていたより高くて驚きました。地元の方(とんぼの会)の懸命さが伝わってきました。時間がゆっくりとしていて、良いなあと思いました」(松江市20代女性)にあるように、農山村に暮らす人に感銘を受ける方が多く、また、「日本の山の暮らし、引き

つくり……と、盛り沢山のメニューに26名が取り組みました。▼参加者の感想、「年齢層が思っていたより高くて驚きました。地元の方(とんぼの会)の懸命さが伝わってきました。時間がゆっくりとしていて、良いなあと思いました」(松江市20代女性)にあるように、農山村に暮らす人に感銘を受ける方が多く、また、「日本の山の暮らし、引き

継ぎしないといけませんね」という言葉もかけられました。

▼11月8日(土)、雲南市温泉地区で開催したのは「秋の畑に行こう」。榎之屋ヒーリングの農場でヤーコン掘り・農場見学と午後からは尾原ダム周辺の景観評価活動に15名が参加。「空と畑と森林を満喫しました。ありがとうございます」(松江市70代女性)と、この回は畑も含めた、まちにはない自然を楽しむ場所として受け止める方が多かったようです。

▼里山の定義は様々ですが、「人が手を入れることで生じた動植物・菌類等の変化がそこに暮らしす生き物の生態系を再編し、互恵的で豊かな関係が育まれる空間」とも言えます。

▼一方、松江・出雲の街中からの参加者アンケートに書かれた「里山」から連想する言葉には、「ふるさと」「なつかしい」という言葉が多いです。

▼里山は、望もうが望むまいが変わっていきます。人だけでなく、生き物目線で、都市の人は農村の目線で、じっくり見つめ考える時間がほしいですね。



▲平野部では見られなくなった稲架干しも棚田では多く見られます。



▲ヤーコンの掘り出し。芽のある茎と芋状の部分がひとそろいで育つ。2〜4週間、常温で熟成させるとアクがぬけて甘くなる。



▲炭焼き窯も静かに減少中。県内で稼働しているのは、現在61基のみ。

要害山の三沢城趾本丸跡▶から下鴨倉を望む風景。古い歴史をもつ地です。



【豆コラム】「里山」の対義として「深山」があげられることもあります。そこにあてはめると、出雲地方をはじめ中国地方は里山だらけになってしまう、関東、信州、上越での「里山」の印象とは随分違ってくるはず。

12月の行事案内



▲リース(製作途中)の素材は山から。

さくらおろち湖の 里山ボランティア ⑤里山素材の リースづくり

木々にまぎつく葛、林の小径に落ちている木の実や色とりどりの葉っぱ。そんな里山の素材をつかったリースづくりの体験講座です。昼食はみざわの館のおもてなし料理。できあがったリースがお土産です。定員30名、受付先着順。

▼開催日時・12月13日(土) 10時～15時 ▼定員30名 ▼場所…奥

出雲町三沢地区(道の駅おろちの里へ9時45分集合して現地へ向かいます) ▼参加費1000円(昼食代込。送迎バス利用者は負担金1000円プラス) ▼島根県庁前から送迎バス有。申し込み・お問合せはNPO法人さくらおろち事務局(☎0854-481-0729)。

神話の里 さくらおろちの 食べごと塾Ⅳ ④川と湖の幸を いただく

楽しく調理体験をしながら、「食の縁結び」を体験します。

今回はさくらおろち湖、斐伊川の知られざる幸を、たっぷりいただきます。

▼開催日時・12月21日(日) 10時～15時 ▼定員20名 ▼場所…雲南市温泉地区(会場・集合場所

は要問合) ▼参加費1000円(昼食代込。送迎バス利用者は負担金1000円プラス) ▼県

庁前から送迎バス有。申し込み・お問合せはNPO法人さくらおろち事務局(☎0854-481-0729)。

竹に驚く日

2015年
1/24(土)
1/25(日)



青原さとし × 前島美江

ドキュメンタリー映画上映
竹の焼畑
タケヤネの里
ワークショップ
竹皮編み

竹林はなぜ 放置されるのか 流域圏で考え、動くための 環境セミナー

少人数での勉強会・セミナー形式で開催しています。奥出雲でのフィールド作業もありです。内容の詳細など事務局までお問合せください。

◆ワークショップ 奥出雲タケヤマ開拓

響繁則さん(国土緑化推進機構選定森の名手・名人)を講師に、伐倒・搬出等作業の実際を行います。メニューは倒れた竹と古い竹の伐採・搬出などを中

▶環境セミナーの最終回の1月25日(日)には、映画「タケヤネの里」の上映会があります。監督・青原さとし、竹皮編み作家・前島美江によるトークイベント、竹皮編のワークショップなど。松江ステイックビルにて。

心として、チップの活用法、消し炭づくりなどを天候や参加人数の状況に応じて行います。

▼開催日時・12月14日(日) 9時30分～15時 ▼定員15名 ▼場所…奥出雲町布勢地区(集合場所

・ダム見える牧場) ▼参加費：昼食代として800円。※午前

のみのみの参加可。申し込みはさくらおろち事務局まで。

★会員募集

私たち「NPO法人さくらおろち」は、尾原ダム周辺の自然

環境や伝統文化や施設といった地域資源を活かし、様々なイベントや地域活動に取り組んでいます。また、地域の方々とともに斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。

正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます/入会金1000円・年会費2000円。

賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です/入会金1000円・年会費1000円。

※正会員特典としては、主催行事参加費10%オフ、イベント情報のご案内、さくらおろち通信の發送(希望者のみ)。

▼ご入会のお手続きについてはNPO法人さくらおろち事務局までお問い合わせください ▼

〒699-1342 雲南市木次町平田779-11 ☎0854-481-0729

